

# SBIインシュアランスグループ<sup>®</sup>(株) 株式売出しに関する補足説明資料



---

SBIインシュアランスグループ株式会社  
証券コード：7326      2024年3月1日

本資料は、本資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、本資料の情報が正確又は完全であることが保証されるものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は、本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。

本資料には、将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます。）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社グループ以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。

本資料は、当社及びその子グループ会社及び当社親会社の企業グループの関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、国内外を問わず、当社の有価証券の募集・売出し、販売、勧誘を構成するものではありません。本資料は、当社の有価証券への投資判断にあたって必要な全ての情報を含むものではなく、当社の有価証券への投資判断は、当社の有価証券に関する目論見書（及び訂正事項分）を入手し、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行って下さい。目論見書（及び訂正事項分）のご請求、お問い合わせは、取扱証券会社までお願い致します。

（本資料中の表示） 資料内の社名等の表示に、次の略称を使用している箇所があります。

SBI損害保険株式会社	・	・	・	・	SBI損保	SBIリスタ少額短期保険株式会社	・	・	・	・	SBIリスタ少短
SBI生命保険株式会社	・	・	・	・	SBI生命	SBIプリズム少額短期保険株式会社	・	・	・	・	SBIプリズム少短
SBI少短保険ホールディングス株式会社	・	・	・	・	SSIH	SBI常口セーフティ少額短期保険株式会社	・	・	・	・	SBI常口セーフティ少短
SBIいきいき少額短期保険株式会社	・	・	・	・	SBIいきいき少短	住生活少額短期保険株式会社	・	・	・	・	住生活少短
SBI日本少額短期保険株式会社	・	・	・	・	SBI日本少短						

<b>1. オファリングの概要</b>	<b>P. 4</b>
<b>2. 売出しの目的</b>	<b>P. 6</b>
<b>3. 会社概要</b>	<b>P. 8</b>
<b>4. 特徴と強み</b>	<b>P.11</b>
<b>5. 中期経営計画</b>	<b>P.17</b>
<b>6. 商品ラインナップ</b>	<b>P.20</b>
<b>7. 進行期の業績（当第3四半期）</b>	<b>P.28</b>

# オフリングの概要



発行体	S B I インシュアランスグループ株式会社 (7326)
オフアリング形式	国内オフアリング
オフアリング株式数	最大 2,300,000株 (発行済株式総数対比 9.3%)
売出し	2,000,000株
オーバーアロットメントによる売出し	300,000株 (上限)
売出人	S B I ホールディングス株式会社
ロックアップ期間	条件決定日に始まり、受渡期日から起算して180日間 対象者：当社、売出人
スケジュール	
売出決議日	2024年3月 1日 (金)
ブックビルディング期間	2024年3月 7日 (木) ~ 条件決定日
条件決定日 (X)	2024年3月11日 (月) ~ 3月13日 (水) のいずれかの日
申込期間	X+ 1 ~ X+ 2 営業日
受渡期日	X+ 5 営業日
申込株数単位	100株
引受証券会社	(主幹事) S B I 証券、(引受証券会社) 岡三証券

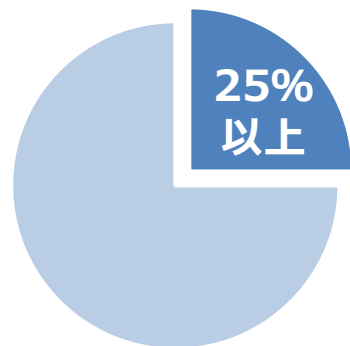
# 売出しの目的



## 当社の株式に投資対象として相応しい十分な流動性を確保し、 上場維持基準に適合することを目的に、本株式売出しを実施<sup>※1</sup>

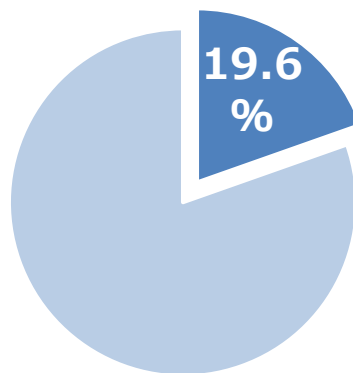
- ◆ 2023年6月23日に当社が開示した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画に基づいた進捗状況」とおり、かねてより、当社の株式に投資対象として相応しい十分な流動性を確保するために、東証グロース市場の上場維持基準である流通株式比率25%以上の充足は不可欠なものと認識し、当社株式の流通株式比率の向上策の実行に向けた対応を進めてまいりました。
- ◆ その過程で親会社であるSBIホールディングス株式会社と継続的な対話を行い、流通株式比率の向上による東証グロース市場の上場維持基準の適合を目的に、今般、本株式売出しを実施することを2024年3月1日付の取締役会において決定いたしました。

### グロース市場の上場維持基準 (流通株式比率)

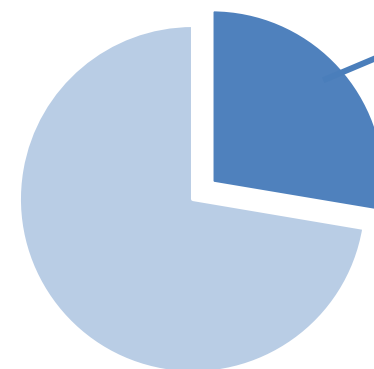


### 当社の流通株式比率

2023年3月末時点



2024年3月末時点(見込み)<sup>※2</sup>



※1 本株式売出しが実施されても発行済株式総数は増加しません。

※2 本株式売出し実施後の株式市場における非流通株式に該当する事業法人や金融機関等の株主の動向次第では25%以上を充足しない可能性があります。  
なお、2024年3月末時点の上場維持基準の適合状況については、2024年4月以降の東証からの判定結果に係る通知をもって、2024年6月末までに改めてお知らせいたします。

# 会 社 概 要



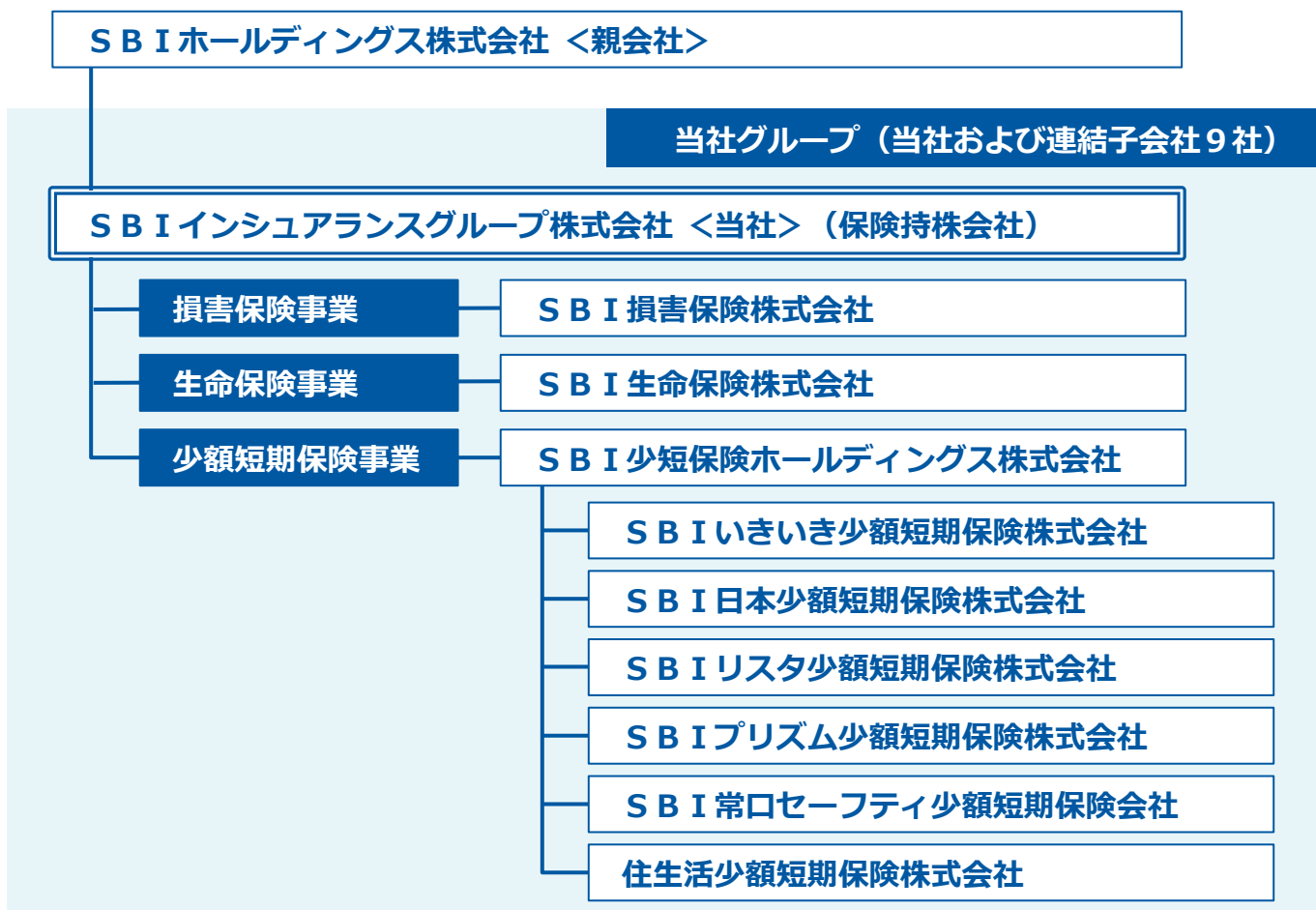


社名	<b>SBIインシュアランスグループ株式会社</b>
所在地	<b>東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16階</b>
設立	<b>2016年12月19日</b> (SBI保険持株準備株式会社 設立)
営業開始	<b>2017年 3月31日</b> (SBI保険持株準備株式会社より商号変更)
上場日	<b>2018年 9月27日</b> (東証マザーズ市場に上場、市場区分の見直しにより、 2022年4月にグロース市場へ移行)
事業内容	<b>保険持株会社</b> (子会社である保険会社・少額短期保険会社の 経営管理およびこれに附帯する業務)
従業員数	<b>連結：937名</b> (他、平均臨時雇用者数：392名) (2023年9月末日現在)





当社は、SBIグループの中で保険事業を統括している持株会社。当社の経営管理の下、連結子会社9社が、損害保険事業、生命保険事業、少額短期保険事業の3事業を総合的に運営



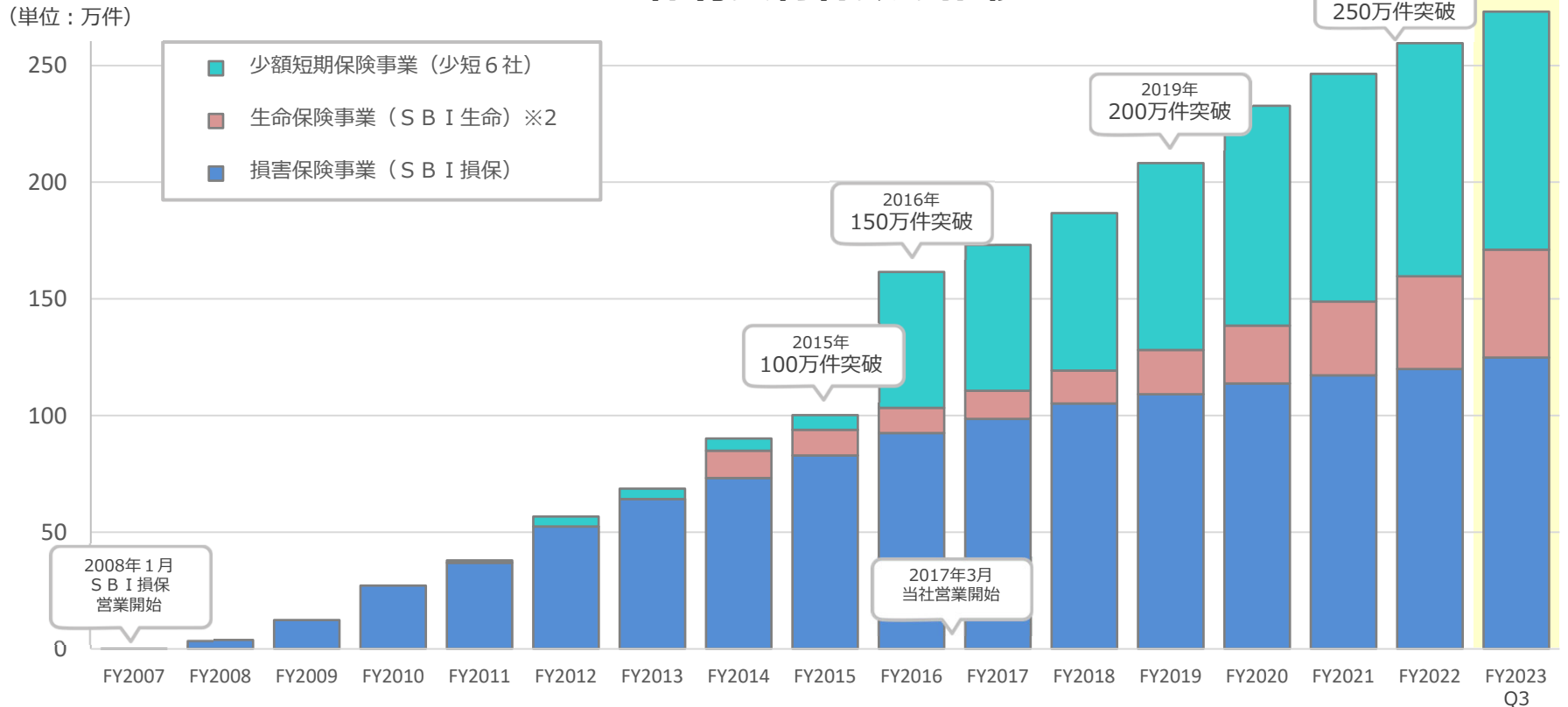
# 特徴と強み





**事業規模を飛躍的に拡大。**  
**2023年12月末における当社グループの**  
**保有契約件数合計は 273万件<sup>※1</sup>**

**保有契約件数の推移**



※1 当社はSBIグループの保険事業を統括する保険持株会社として2017年3月に営業を開始いたしましたが、当社の各子会社は当社の営業開始前から営業活動を行っているため、上記グラフでは各子会社のSBIグループ加入後（当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社となって以後）の保有契約件数を表示しています。

※2 生命保険事業の保有契約件数には、SBI生命の団体信用生命保険の被保険者数を含めています。



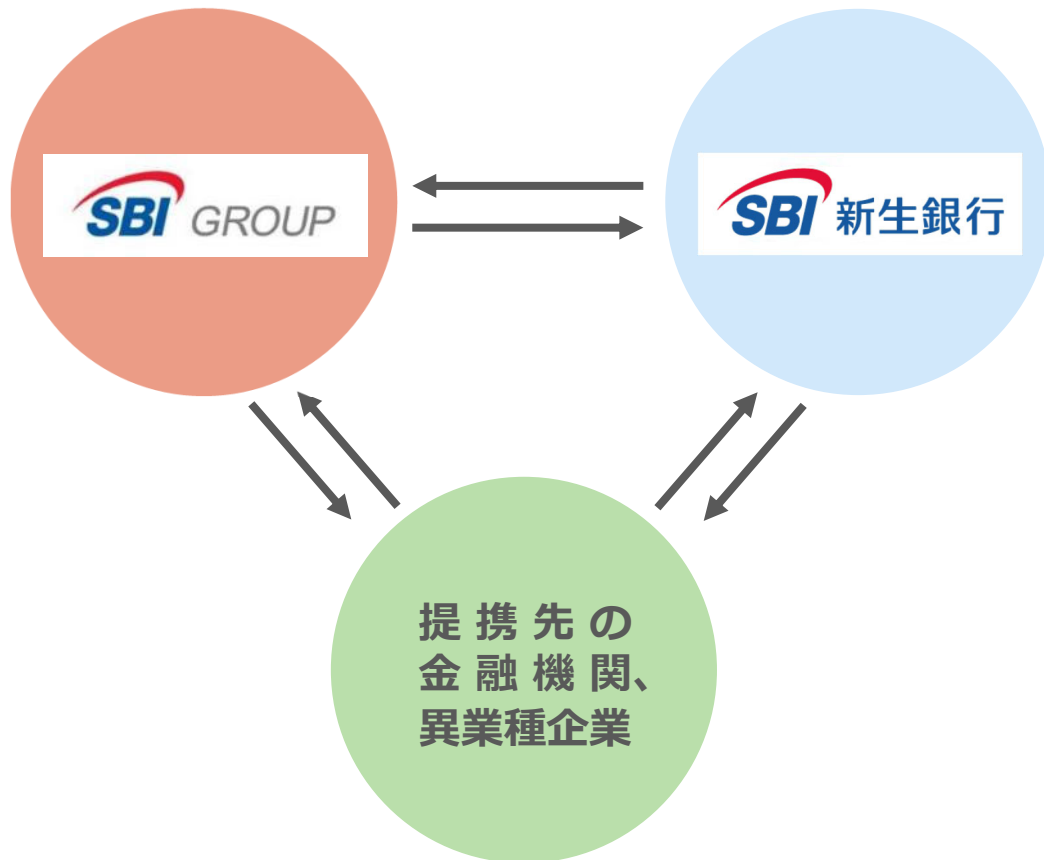
SBIインシュアランスグループは、インターネット、AIなどのテクノロジーを活用することでローコスト・オペレーションを実現





SBI 新生銀行<sup>※</sup>グループや提携先の金融機関・異業種企業との間で広域な連携体制を保持する SBI グループの顧客基盤を活用した効率的な保険販売で事業費を節約。低価格の保険を提供

< 提携先を含む広域な連携体制 >



- ◆ SBI グループの顧客基盤は、ノンバンクや法人金融を強みとする SBI 新生銀行グループの加入（2021年12月）によって一段と拡大

※ SBI 新生銀行の行名について  
2000年6月：  
「日本長期信用銀行」から  
「新生銀行」へ変更  
2023年1月：  
「新生銀行」から  
「SBI 新生銀行」へ変更

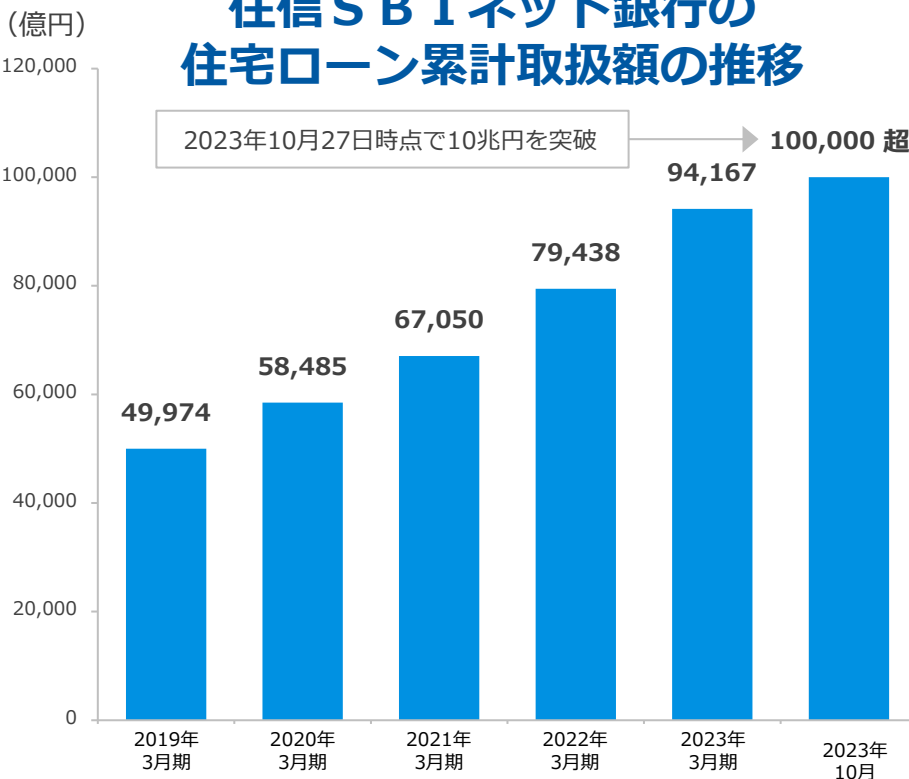


### 【事例 1】 S B I グループの顧客基盤の利用

急成長を続ける 住信 S B I ネット銀行 へ  
 S B I インシュアランスグループが保険を提供。  
 住宅ローンをご利用のお客さまの増加に連動して、  
 団体信用生命保険等のお客さまの増加を目指す

#### 住信 S B I ネット銀行の 住宅ローン累計取扱額の推移

2023年10月27日時点で10兆円を突破



◆ S B I 生命が、住信 S B I ネット銀行の住宅ローン向けに**団体信用生命保険**を提供



住信 S B I ネット銀行

◆ S B I 損保が、住信 S B I ネット銀行の住宅ローンのお客さまに**火災保険**を提供



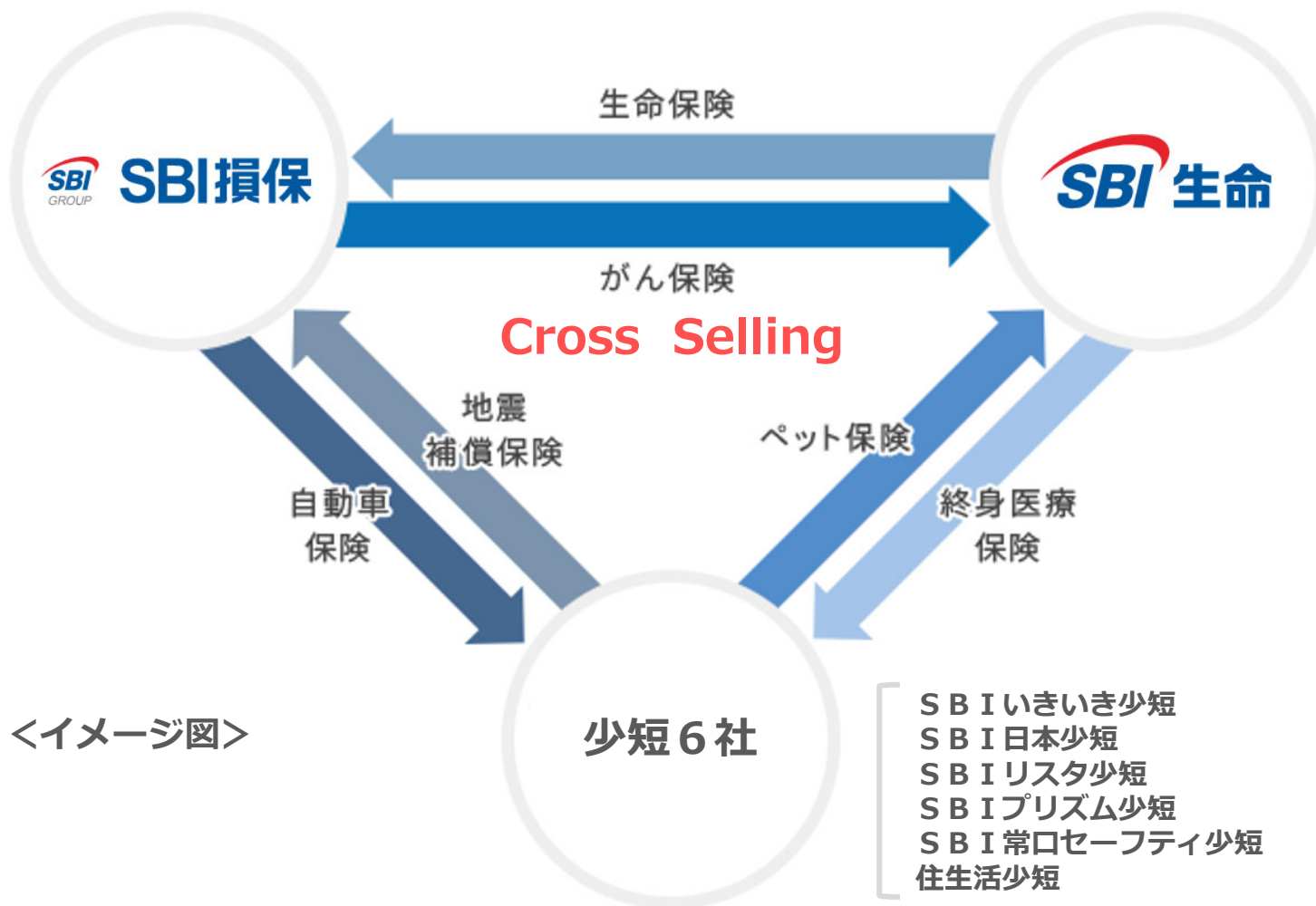
住信 S B I ネット銀行

※住信 S B I ネット銀行の決算説明資料およびプレスリリースに基づき作成。  
 ※取扱額は、住信 S B I ネット銀行が販売する住宅ローン、住信 S B I ネット銀行が三井住友信託銀行の銀行代理業として販売する住宅ローン、住信 S B I ネット銀行を所属銀行として銀行代理業者が販売する住宅ローン、「フラット35」および株式会社優良住宅ローン（2022年3月期以降）により組成された住宅ローン（フラット35、プラスワン）の各融資実行額の合計。



【事例 2】 当社グループ内の顧客基盤の共有

グループ各社のユニークな保険商品をクロスセルで提供し合うことで、**充実した商品ラインナップ**を実現



<イメージ図>



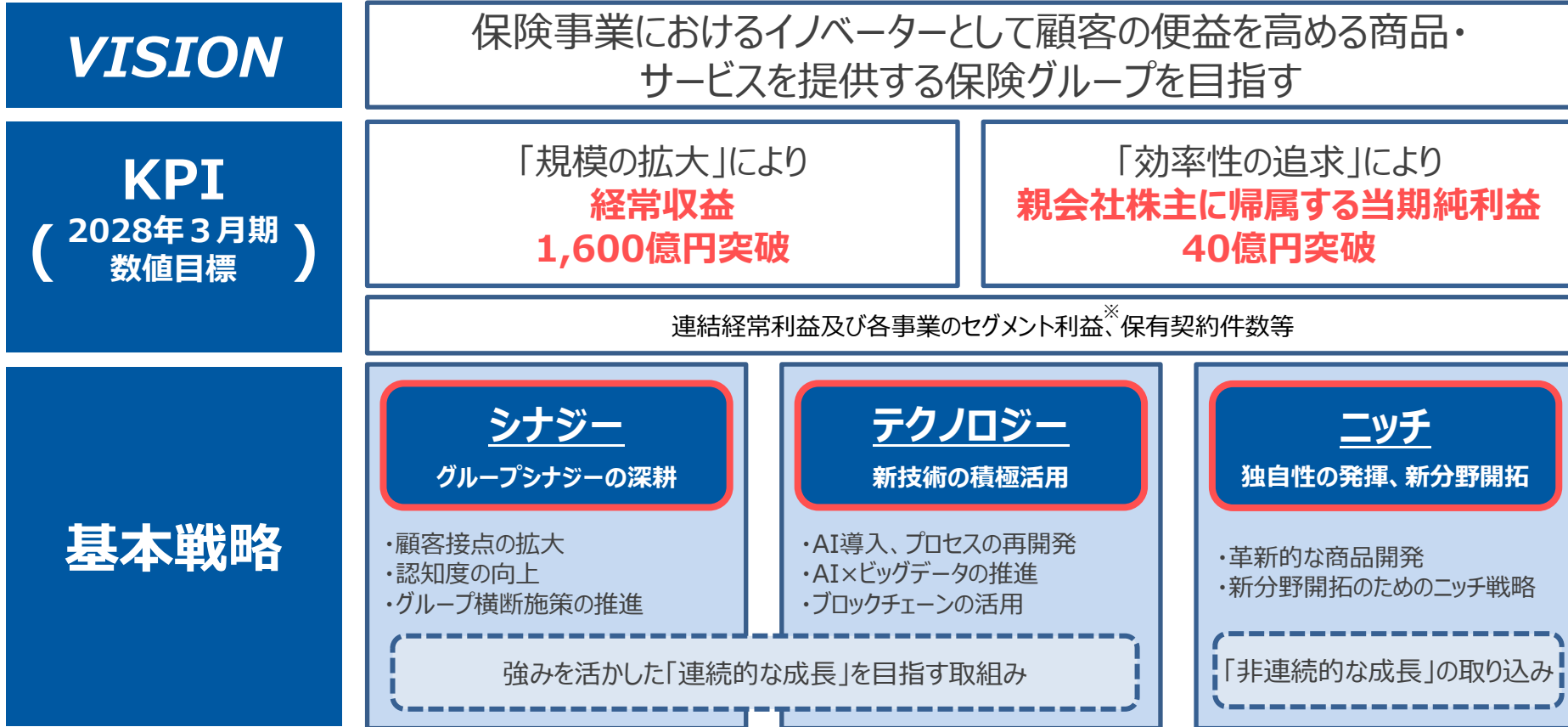


# 中期経営計画

(2023年5月公表)

「シナジー」、「テクノロジー」、「ニッチ」を基本戦略に据え、中期経営計画を策定

■ 中計基本戦略の骨子



※セグメント利益は各事業の「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載（従来は各事業の「経常利益」をセグメント利益としていたが、2024年3月期より変更）

2028年3月期に経常収益 **1,600億円**、当期純利益 **40億円** の達成に向けて、セグメントごとに戦略を策定。

(経営目標)

指 標	実 績	中期経営計画 (計画期間：5年)	
	2023年3月期 (基準年度)	2028年3月期 (最終年度)	
	金 額	金 額	基準年度比 増 減 率
経 常 収 益 (億円)	961億円	1,600億円	+66.5%
経 常 利 益 (億円)	63億円	170億円	+169.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (億円)	12.4億円	40億円	+222.5%
1 株 あ た り 配 当 額 (円 銭)	10.00円	30%前後の水準の 配当性向を目指す。	

# 商品ラインナップ



当社グループの商品ラインナップ ～ 競争力のあるユニークな商品 ～

事業	損害保険事業 (SBI 損保)	生命保険事業 (SBI 生命)
種類	自動車保険 がん保険 火災保険	団体信用生命保険、定期保険 就業不能保険、終身医療保険
主要取扱商品	<p><b>SBI 損保の自動車保険</b></p> <p><b>SBI 損保のがん保険</b> <small>自由診療タイプ</small></p> <p><b>SBI 損保の火災保険</b></p>	

事業	少額短期保険事業					
種類	生命保険 医療保険	ペット保険	地震保険	車両保険	家財保険	その他
主要取扱商品	<p>SBI いきいき少短の <b>死亡保険</b></p> <p>SBI いきいき少短の <b>医療保険</b></p>	<p>SBI いきいき少短の <b>ペット保険</b></p> <p><b>プリズムゴール</b></p> <p>SBI プリズム少短のペット生活総合補償保険 <b>プリズム:5 ペット</b></p>	<p>SBI いきいき少短の <b>地震の保険</b></p> <p><small>地震被災からの再スタート費用保険</small></p> <p><b>Re:sta</b> <small>リスタ</small></p> <p><small>地震被災者のための生活再建費用保険</small></p>	<p><b>みんなのバイク保険</b></p> <p><b>みんなのスポーツサイクル保険</b></p>	<p><small>賃貸住宅総合保険 2021</small></p> <p><b>みんなの部屋保険 G4</b></p>	<p><b>法人顧客向け オーダーメイド型 保険</b></p> <p>(ブライダル保険等)</p>

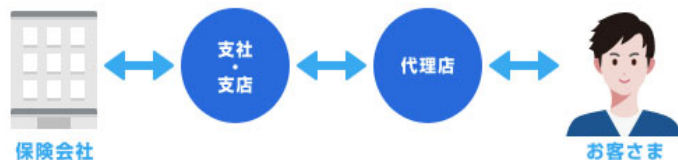


「SBI 損保の自動車保険」は、  
リーズナブルな保険料でお客さまに選ばれている  
ダイレクト型の自動車保険

◆ SBI 損保 は 支社・支店などを持たず、  
人や書類を極力介さずに、主にインターネットを通じて  
お客さまと保険契約を結ぶことで、余計な中間コストを  
削減し、お手頃な保険料を実現しています。

### 代理店型自動車保険

.....  
人件費などの中間コストが保険料に反映



### ダイレクト型自動車保険（SBI損保）

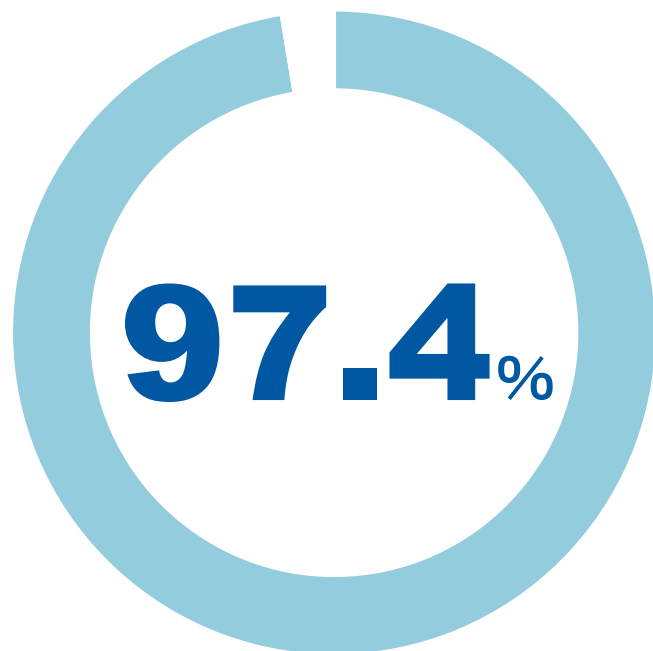
.....  
人件費などのコストをカットして  
自動車保険をリーズナブルに提供





保険料の安さも、安心も  
保険料、事故対応ともに高い顧客満足度。

### 保険料満足度



### 事故対応満足度



※自動車保険に関する自社アンケートより、保険料にとても満足・満足・やや満足とご回答いただいた方の割合（2023年1月から2023年6月に実施 回答数12,419件）

※事故対応に関する自社アンケートより、事故対応に大変満足・満足・やや満足とご回答いただいた方の割合（2022年4月から2023年3月に実施 回答数：13,883件）



## 大部分の金融機関において、住宅ローンの契約には団信への加入が必須条件 ( 団信 = 団体信用生命保険・団体信用就業不能保障保険 )

### ◆安心の仕組み。団信とは

金融機関等からローンをお借入れになるお客さまを被保険者、金融機関等を保険契約者とし、被保険者がローン返済期間中に、死亡または所定の高度障害状態に該当した場合に支払われる保険金をローンの返済充当することで、被保険者の生計の安定を図るための団体保険です。



### ◆SBI 生命の団信の特長

#### 1. 特約が充実！（団体信用生命保険）

被保険者が債務返済期間中に死亡または所定の高度障害状態に該当した場合には、保険金で債務を返済いたします。リビングニーズ特約では、余命6カ月以内と判断された場合に、また、重度がん保険金前払特約では、がんと診断確定され、すべての治療を受けたが効果がなかったと判断された場合等に、それぞれ保険金で残った債務を返済いたします。

#### 2. すべての病気・ケガに対応！ (団体信用就業不能保障保険(特約))

被保険者が債務返済期間中に傷害または疾病（所定の免責事由に該当する場合を除く）により就業不能となった場合に、毎月のローン返済を保険金でカバーいたします。また、債務繰上返済支援特約では、所定の期間、就業不能状態が継続した場合には、保険金で残った債務を返済いたします。

#### 3. ワイド団信で、お引受範囲を拡大！

一般の団信よりも引受条件が緩和された団信です。例えば、高血圧症、高脂血症、肝機能障害等の持病があり、一般団信にご加入できない方でも、ワイド団信にはご加入できる場合があります。





全国の金融機関との提携交渉を推進。  
2024年1月末時点で、**合計99機関**で  
SBI 生命の団信の販売が開始・決定済み

◆ SBI 生命の団信は、地域金融機関等による  
住宅ローン事業の収益性向上に貢献できる商品

<提携金融機関>

アルプス中央信用金庫  
飯田信用金庫  
池田泉州銀行  
上田信用金庫  
沖縄銀行  
かながわ信用金庫  
川崎信用金庫  
北九州銀行  
北日本銀行  
協栄信用組合  
島根銀行  
住信SBIネット銀行

諏訪信用金庫  
西武信用金庫  
仙台銀行  
東濃信用金庫  
豊田信用金庫  
長野信用金庫  
浜松いわた信用金庫  
飯能信用金庫  
福島銀行  
松本信用金庫  
もみじ銀行  
山口銀行

その他の提携先金融機関さま

※五十音順



SBI プリズム少短

SBIプリズム少短は、**ペット生活総合補償保険「プリズムペット」**を新発売（2023年4月）

- ◆ 業界初\* の補償として『飼育費用補償特約』を提供
- ◆ ペット保険市場の拡大※を追い風にさらなる業容拡大を目指す。

SBIプリズム少短のペット生活総合補償保険

プリズム❤️ペット

業界初\*！ 飼育費用補償を付帯

飼い主さまにもしものことがあった場合に、大切な家族であるペットを受け入れ施設に預ける際の費用を補償いたします。

\*2023年4月現在

SBI プリズム少短

業界で初めて『飼育費用補償特約』を付帯。  
ペットとの暮らしを安心して楽しめる補償を提供

🐾 飼育費用補償とは？

ご主人さまに  
もしものことが  
あったら  
どうしよう…



飼い主さまにもしものことがあった場合に  
大切な家族であるペットを受け入れ施設に預ける際の費用  
を補償いたします。

※家族等の第三者に譲渡された場合は対象外となります。



# 進行期の業績

(当第3四半期)

## 2024年3月期 第3四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期累計 (2022年4月～2022年12月)	2024年3月期 第3四半期累計 (2023年4月～2023年12月)	対前年同期 増減率
経常収益	70,342	78,466	11.6%
経常利益	5,176	6,427	24.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,386	1,731	24.9%

- ◆ 保有契約件数の堅調な増加が主な要因となり、11.6%の増収
- ◆ 経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ、24.2%、24.9%の増益

<https://www.sbiig.co.jp>

 **SBI** Insurance Group

---

SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326